

## 名古屋大学≪生物機能開発利用研究センター・教授≫公募要領

1	募 集 件 名	教授の公募	
2	所 属	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 生物機能開発利用研究センター	
3	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p>生物機能開発利用研究センターでは、高等動植物がもつ様々な生物機能に関する基盤的研究を推進し、社会実装を見据えた応用・開発研究へと展開することによって、産業活性化、社会還元、国際貢献を実現することを目的とする研究活動を行っています。</p> <p>本公募では、食料・環境問題の解決や産業活性化を目指し、その基盤となる植物を研究対象とした優れた研究実績を有し、さらにそれを発展させた革新的な研究を推進する人物を求めます。そして、本センターの研究室と連携しつつ、農学の発展に資する先進的な研究を遂行して頂きます。また、大学院生命農学研究科の大学院生の教育と研究指導を担当するとともに、学部教育にも協力して頂きます。着任後、速やかに助教採用の選考を行うことができます。なお、研究業績、教育実績、社会的貢献、人物等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> <p>[勤務地]            愛知県名古屋市千種区不老町</p> <p>[募集人員]        教授・1名</p> <p>[着任時期]        決定後できるだけ早い時期</p>	
4	募 集 研 究 分 野	大区分	農学、生物学
		中区分	生産環境農学、農芸化学、植物科学およびその関連分野
5	勤 務 形 態	常勤 任期なし	
6	応 募 資 格	<p>[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博士学位を有していること</li> <li>・食料・環境問題の解決や産業活性化の基盤をなす植物を対象とした研究を専門分野とし、優れた研究実績を有していること</li> <li>・大学院生の教育と研究指導に熱意と責任感を持って取り組み、学部教育にも協力できること</li> </ul>	
7	待 遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 <a href="http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kisoku/act/frame/frame110010928.htm">http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kisoku/act/frame/frame110010928.htm</a></li> <li>・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 <a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm</a></li> </ul>	
8	応 募 期 間	令和6年4月9日～令和6年6月10日13:00（日本時間：必着）	
9	応 募 ・ 選 考	[応募方法（提出書類の送付先）]	

	<p>結果通知 連絡先</p>	<p>(1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む）</p> <p>(2) 履歴書</p> <p>(3) 研究業績リスト  ※履歴書、研究業績リスト（受賞歴、競争的資金等の研究課題、特許、指導歴・担当経験のある科目、委員歴、その他を含む）は下記から所定様式をダウンロードしてください。  <a href="http://bbc.agr.nagoya-u.ac.jp/contact-access/index.html">http://bbc.agr.nagoya-u.ac.jp/contact-access/index.html</a>  「競争的資金等の研究課題」は、過去 10 年間の研究費獲得状況を記載してください。</p> <p>(4) 現在までの研究の概要（2,000 字程度、研究業績リスト番号を引用のこと）</p> <p>(5) 今後の研究に関する計画と抱負（2,000 字程度）</p> <p>(6) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（1,000 字程度）</p> <p>(7) 大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え（1,000 字程度）</p> <p>(8) 応募者について照会できる方 2 名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス</p> <p>(9) 類型該当性の自己申告書と類型該当判断のフローチャート  (https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html から様式をダウンロードして作成すること。「10. その他」欄を参照のこと。)</p> <p>(10) 論文等の PDF ファイル（主要なもの 10 編程度）</p> <p>[書類送付先]  上記の提出書類（1）～（9）を 1 つの PDF ファイルにまとめ、主要論文（10）の PDF ファイルとともにフォルダに入れ、圧縮（ZIP 形式）フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。メールのタイトルは「生物機能開発利用研究センター教授応募 応募者のお名前」としてください。また、ファイルサイズは全体で 50 M バイトを超えないようにしてください。どうしても超えてしまう場合には、予めご連絡ください。  送付先アドレス（電子メール）：<a href="mailto:cenkoubo@agr.nagoya-u.ac.jp">cenkoubo@agr.nagoya-u.ac.jp</a></p> <p>[問い合わせ先]  名古屋大学 生物機能開発利用研究センター教授選考委員会  委員長 榊原均  電子メール：&lt;<a href="mailto:sakaki@agr.nagoya-u.ac.jp">sakaki@agr.nagoya-u.ac.jp</a>&gt;</p> <p>※ 応募締め切りの 1 週間後までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、委員長までお問い合わせください。なお、お問い合わせは、委員長宛に電子メールでお願いします。</p> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]  ・書類選考の上、面接を実施することがあります。なお、交通費は自己負担とします。  ・採否の結果については、原則電子メールで連絡します。</p>
10	そ の 他	<p>・当センターでは、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。名古屋大学の</p>

		<p>取り組みについては、次をご覧ください。</p> <p><a href="http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/">http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/</a></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。</li></ul> <p>これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（<a href="https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html">https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html</a> の「様式1」）の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。</li><li>・ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分します。</li></ul>
--	--	---